

学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料

教育芸術社

音楽 [中学校第3学年]

以下の資料は、当社の教師用指導書ならびにホームページに提示している第3学年の年間指導計画作成資料（A案）に基づき、今後の学習活動の重点化等に関連して

1. 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動とその時数
 2. 感染症対策の観点から指導順序の変更が考えられる教材・学習活動とその時数
- について一覧にまとめたものです。

年間指導計画例はこちらをご参照ください。https://data.kyogei.co.jp/data_room/nenkei/chu_keikaku28_2/h30_nenkei_3a.pdf

注) 表中【歌唱】【器楽】【創作】の教材において「音源」とあるのは、教育芸術社のホームページにある「自宅学習支援コンテンツ」中の「中学生の音楽2. 3下」「中学生の器楽」に含まれる音源のことを指します。なお、音声や動画をインターネット経由で視聴できる環境にない家庭の生徒への配慮を併せてお願いいたします。

自宅学習支援コンテンツ



題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更	左記の 配当時数
日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう【歌唱】	4	<p>「花」 (p.4)</p> <p>言葉の持つ語感やリズムなどを感じ取りながら歌詞を音読する。</p> <p>意味を理解したり,情景を思い浮かべたりしながら歌詞を音読する。</p> <p>音源を聴き, 1, 2, 3番の旋律やリズムの違いを確認しながら歌う。</p> <p>「早春賦」 (p.22)</p> <p>言葉の持つ語感やリズムなどを感じ取りながら歌詞を音読する。</p> <p>意味を理解したり,情景を思い浮かべたりしながら歌詞を音読する。</p> <p>音源を聴き, 8分の6拍子の流れを感じながら歌う。</p> <p>RHYTHM GAME (p.9)</p> <p>図を使ってリズムをつくり, 拍に合わせて声に出す。</p>	2	2	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p> <p>My Voice! (p.15) 指導順序を変更する。</p> <p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p> <p>BINGO GAME (p.8) 学年末の復習として取り上げる。</p>	2

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更	左記の 配当時数
曲想や語感を生かして、 表現を工夫しよう【歌 唱】	3	<p>「帰れソレントへ」(p.16)</p> <p>発声の特徴を捉えたり,調の変化やテンポの変化による雰囲気の変化を感じ取ったりしながら音源を聴く。</p> <p>イタリア語の語感の特徴を感じ取りながら,音源に合わせて歌詞を音読したり歌ったりする。</p> <p>「Yesterday」(p.18)</p> <p>音源を聴き,英語の語感を感じ取りながら,音源に合わせて歌詞の音読をしたり,模倣して歌ったりする。</p>	1	2	実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。	2
ポピュラー音楽の特徴 を理解して、その魅力を 味わおう【鑑賞】【器楽】	4	<p>「ウィ ウィル ロック ユー」,「ワルツ フォー デビイ」,「おいしい水」(p.46)</p> <p>ポピュラー音楽が時代とともに変化し,さまざまなジャンルが影響し合ったりしていることを理解しながら説明文を読む。</p> <p>公衆送信などによる音源を利用し,それぞれの音楽の特徴を感じ取りながら聴く。</p> <p>「テキーラ」(器楽 p.54)</p> <p>曲の構成を確認しながら音源(リズムパートなし)を聴く。</p> <p>曲のイメージに合うリズムを考え,音源に合わせて言葉や手拍子で演奏する。</p> <p>「Yesterday」(器楽 p.74)</p> <p>巻末の運指表を参考にしながら,音源に合わせてリコーダーで演奏する。</p>	2	2	歌唱活動が制限される場合は, この題材を先に取り上げてよい。 <p>リコーダーを用いる全ての学習 活動の指導順序を変更する。</p>	2

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更	左記の 配当時数
言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう【創作】	2	My Melody (p.26) 教科書の手順にしたがって歌詞をつくり、言葉の抑揚を生かして旋律をつくる。 つくった旋律を、強弱やテンポの変化など、表現を工夫しながら歌う。	1	1	歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げてよい。	1
パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう【歌唱】	3	「風の中の青春」(p.10) 旋律の音の動きの特徴を感じ取ったり、各パートの役割を考えたりしながら音源を聴く。 「フィンランディア」(p.25) 和音の変化を聴き取りながら音源を聴く。	0.5	2.5	実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。	2.5
音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう【鑑賞】	3	組曲「展覧会の絵」から(p.30) 公衆送信などによる音源を利用し、各曲の特徴を感じ取りながら聴く。 好きな曲を選び、曲の特徴やよさを伝えるプレゼンの準備をする。 ブルタバ(モルダウ)(p.32) 【参考曲：交響詩「フィンランディア」】 曲の背景を理解しながら「楽曲について」を読む。 公衆送信などによる音源を利用し、教科書 p.33 を参考に、曲想の変化を感じ取りながら聴く。	1.5	1.5	歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げてよい。	1.5

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更	左記の 配当時数
曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう【創作】 【器楽】	4	「打楽器のための小品」(器楽 p. 78) 音源を参考にしながら各パートのリズムを打つ。 それぞれのパートのリズムのもつイメージに合った楽器を考える。	2	2	Let' s Create! (p. 28) 指導順序を変更する。 グループでの活動の指導順序を変更する。	2
雅楽や能の特徴を理解して、その魅力を味わおう【鑑賞】【歌唱】	4	平調「越天楽」(p. 36) 雅楽や管絃について理解しながら教科書の説明を読む。 公衆送信などによる音源を利用し、教科書の譜例を参考にして、各楽器の音色の特徴を感じ取りながら聴く。 「箏楽の唱歌」(p. 39)を音源に合わせて歌い、旋律の感じや息の使い方を覚える。 「羽衣」から (p. 40) 能について理解しながら教科書の説明文を読む。 公衆送信などによる音源を利用し、「場面1」「場面2」のそれぞれの特徴を感じ取りながら聴く。 能「羽衣」から (p. 42) 音源を聴き、声の音色や節回しの特徴を感じ取りながら謡う。	2	2	歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げてよい。 実際に声に出して行う歌唱活動の指導順序を変更する。	2

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更	左記の 配当時数
世界の諸民族の音楽の 特徴を理解して、その魅 力を味わおう【鑑賞】	2	メヘテルハーネ、バラフォンの合奏、ロマの音楽、マリアチ、 ガムラン (p.44) 世界にさまざまな音楽があることを理解しながら教科書 の説明文を読む。 公衆送信などの音源を利用し、それぞれの音楽の特徴を感 じ取りながら聴く。	1	1	歌唱活動が制限される場合は、 この題材を先に取り上げててもよ い。	1
仲間とともに、表情豊か に合唱しよう【歌唱】	6	「きみとともに」(p.20)、「ふるさと」(p.54)、「青空」、「い つまでも」、「美しい約束」、「旅立ちの日に」、「大地讃頌」、 「名付けられた葉」、「仰げば尊し」(p.56-72) (以上から選 択) 音源を聴き、歌詞と旋律の関わりに注目して、どのように 表現するかを考える。 指揮をしてみよう！ (p.52) 「速度やタイミングをそろえるために必要なこと」の内容を 読み、既習の曲などを用いて指揮の仕方を工夫する。	1	5	実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。	5
	配当 時間 外	ルールを守って音楽を楽しもう！ (p.50) 内容を読んで理解し、「なぜ音楽を楽しむ際にルールを守 る必要があるのか」について考える。			歌唱活動が制限される場合は、 この教材を先に取り上げててもよ い。	